



次世代という新たな企業製品の与える可能性

令和7年3月12日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

飛躍的な機能性、技術の進歩は今日の経済の変化であり、企業が自己製品を飛躍させ、これら新しい潮流への参加を求めるとき、新たな可能性を企業が有することができる。

これらは企業における開発環境が新しい開発基準を要求され、それらが新しい企業の可能性を実現できることを意味する。

これら経済の進歩と発展が、新しい技術とシステムにおいて社会革命を今日与えているのである。

それらは、企業が自己企業製品の構築を行うとき、全く新しいその進歩性における技術製品における基準を市場において要求されるのである。

これらが今日のビジネスの高揚である。事業家たちは、その先端性という新しい現実において企業経営を模索し、真実においてそれらにおける企業経営が唯一企業において未来の実現を与えることができるのである。

これらは企業の使命という、生活の維持への製品とサービスの提供という根本性において、競争原理が、より優れた生活の向上を与えること、他方において競争が資本力において、格差を形成すること、これらが社会のヒエラルキーの形成を富という基準において与えること、金融が富をコントロールすることなど、一切の真実は、資本主義という現実における現実への正しい理解なのである。

上記は、自由経済システムへの正しい考察である。シカゴ学派が唱える自由経済システムという理想は、一つの矛盾を有するのである。

しかし自由経済システムが与える新たな可能性は技術の飛躍的な進歩と競争原理における勝利者たちの与える未来なのである。

